長岡市政だより

第123号
発行所
長岡市役所
長岡市柳原町
（電話代表㉘1122）

住民登録人口
（12月1日現在）
世帯数　33,934
人口　153,465
男　75,013
女　78,452

# 無雪道路の準備OK

## 基地設けて機動力を分散
### 豪雪時には第二次動員を

冬将軍の襲来を迎えて、市では、市民生活の安全と経済活動を確保するために市内主要路線の完全除雪と交通確保に全力を尽すこととして、各関係機関と協議の上、この除雪計画は一昨年の豪雪を教訓に、市民の生活物資の確保を目標として、ブルドーザー等をあらかじめ除雪基地に分散したり、また、消雪道路の実現によって、いままで配置していた除雪車を郊外にふりむけ効率的な活動をはかりまして、一昨年の豪雪の教訓を生かした除雪計画をご紹介しましょう。（写真は一昨年の豪雪時の除雪車の活躍）

市内を縦横している国道八号線と十七号線は、建設省北陸地建長岡工事事務所が担当して、常に自動車の運行を確保します。

また、県道は県の土木出張所が担当して県の除雪計画にもとづいて路線を確保します。

**◎除雪場所を指定**

市道については次のように除雪します。生活物資の確保や生産物の搬入、搬出および災害緊急事態の対処、

(1)除雪は、生活物資の確保や生産物の搬入、搬出および災害緊急事態の対処、(2)屋根から下ろした雪は、道路に捨てないこと、道路に捨てないこと、(3)除雪車運行により損傷の車道に尿・汚物等の処理に重点をおく。(2)除雪作業が円滑にいかれるよう市内を七ブロックにわけ、除雪本部を市土木課におき、三つの基地（第一基地…長岡消防署北分遣所。第二基地…長岡市役所。第三基地…長岡市宮内公民館）に除雪機械を配置する。

(3)降雪量により、第一、第二次の動員計画案により除雪機械を配置する。

(4)市街地の雪捨場所を宝田橋、宝鉄橋、御幸橋、柏町地内柿川左岸、橋、追廻橋および左岸、福島江、栖吉川、平潟川等の他の小河川は雪捨を禁止する。

以上の計画にもとづき除雪に万全を期しています。

**道路上に雪を出さないで**

次のような点にご協力をお願いいたします。

(1)除雪車の運行中は近寄らないこと。

(2)屋根から下ろした雪は、道路に捨てないこと。

(3)除雪車運行により損傷の車道に尿・汚物等の処理に重点をおく。(2)除雪作業が円滑にいかれるよう市内を七ブロックにわけ、除雪本部を市土木課におき、三つの基地（第一基地…長岡消防署北分遣所。第二基地…長岡市役所。第三基地…長岡市宮内公民館）に除雪機械を配置する。

(3)降雪量により、第一、第二次の動員計画案により除雪機械を配置する。

(4)市街地の雪捨場所を宝田橋、宝鉄橋、御幸橋、匠橋、栄橋、平潟橋、追廻橋および左岸、柏町地内柿川左岸、北中島町三島、上中島町三島、柿川左岸、福島江、栖吉川、平潟川等の他の小河川は雪捨を禁止する。

以上の計画にもとづき除雪に万全を期しています。

**道路上に雪を出さないで**

次のような点にご協力をお願いいたします。

(1)除雪車の運行中は近寄らないこと。

(2)屋根から下ろした雪は、道路に捨てないこと、道路に捨てないこと、

〔写真説明〕
①交差点での徐行を急り、店に転び込んだ自動車（市内表町で）
②ガードレールが設けられ、また、事故防止のために道路にすべり止めが施された国道八号線（市内白島町、三条通り交差点）
③交通安全宣言二周年記念式典で県知事から贈られた表彰状と記念品

# 交通安全都市宣言　3周年を迎えて

昭和三十六年十二月十六日、長岡市議会において議員発議により「交通の安全確持に反するいっさいの行為を排除し、長岡市全域にわたって交通の忠実を誓医しよう」と誓いあい、交通安全都市」を宣言してから、ここに三周年を迎えようとしています。

この間、交通事故を防ぎ、私たち市民の生命を守るために周りの運動に立ちあがり根強く地道に運動を推進ともなう交通事者の悪化によって交通事故は、ますます多くなってきております。

このように悪化してきている交通事情に対処し、交通の安全と円滑をはかるには、どのように運動を推進したらよいか、また、運動を展開しゆく上の問題点等、三周年を迎えるにあたり、推し進められている運動を紹介しながら、いろいろな立場の皆さんからのご意見をかかげることにいたしました。

（写真は自動車のライトが交差する夜の大手通り）

## 力を入れた施設の整備

### あらたに横断旗を備え付け

あの「母子ひき逃げ事件」を契機に長岡市が県下で最初、全国で七番目に交通安全都市を宣言してから、交通安全市民運動推進協議会（歩行者・自転車指導部会、交通安全協会、環境整備部会、児童・生徒指導部会、運転者指導部会）を設けて推進策を検討し、交通安全市民運動推進協議会を中心として運動の推進にあたってきました。

とくに昭和三十七、三十八両年度には総額一、六一九万円という全国まれにみる交通安全予算で交通環境を整備し、そして本年度は二六四万円の予算で環境整備と啓蒙と啓発（啓蒙伝達）にあたり、交通事故の発生増に比較して死者は減っております。

昨年は、一昨年に比較して事故件数が減り、他都市の発生増に比較して市民ぐるみの運動が実を結んできたことは、本年度の一年間の事故件数が、死者八人）で、すでに昨年一年間の交通事故数および傷者数を越えていますが、死者数は減っております。

昨年は、一昨年に比較して事故件数が減り、他都市の発生増に比較して市民ぐるみの運動が実を結んできたのは、まだまだ思われましたが、まだまだ運動にはならないことを痛感させられました。

60
最高速度

**力を入れた環境整備**

この結果、今までに
(1)交通安全部市標識塔を九基建立（国道及び主要県道の市境界九か所に建立）
(2)横断歩道九十三か所を設置（うち二十九か所は本年度にぬりかえ）
(3)交通信号機十四基設置（うち三基は本年度に設置）
(4)ガードレールを十九か所延長千五百八十二メートルに設置（うち二か所は本年度に設置）
(5)道路標識を設置（①道路標識四百六十基を建立（うち百四十一基を本年度に建立）②八か所の警鐘台に大看板を取り付け③新市域の体育施設や学校付近および交通事故発生危険か所に百六十九基（うち百基を本年度に建立）
(6)横断旗を備え付け（本年度の事業として国道筋六か所の横断歩道に横断旗を備えた。環境整備に力をそそいできました。

**強力に推進した街頭指導**

一方、歩行者指導のため毎月十日、二十三日、二十六日の一、交通安全都市宣言七年三月から昭和三十九年十二月十日まで、交通安全市民運動推進協議会委員や町内会長、それに市職員警察官等が担当の街頭で指導をしました。

この一地区の街頭で指導をしました。

ほかに深才、黒条、六日市、上川西地区、上藤太郎）、長岡市上川西地区交通安全協会（会長岡長村松金氣）、長岡市上川西地区交通安全協会（会長岡崎本所吉助〈長倉町〉、下条元治郎〈藤古町〉、小川勝三郎〈常盤町〉、佐藤善吉〈上中島町〉）

◇後援長岡事故自動車運転者青年部（会長小川勝三郎）
◇交通安全運動に寄与
▽関人：南場留吉（新保町）
▽団体：長岡市立六日市小学校PTA（会長船貝啓二）、長岡市深才地区交通安全市民運動推進協議会（会長村松金氣）、長岡市上川西地区交通安全協会（会長岡崎本所吉助）
◇交通安全都市宣言七周年記念市民大会で次三周年記念市民大会で次の方々を表彰します。
◇交通安全表彰優良警察官
小宮山勝義、和泉酬治（以上長岡警察署）

**昨年を上まわった交通事故**

### 市民ぐるみの運動をよそに

ことしの十一月末までに長岡管内で起きた交通事故発生件数は八百四十九件（昨年同期八百五十八件）、死者数は四百六十一人（昨年同期四百六十一人）、死傷者数は一万二千二百二十一人（昨年同期一万二千二百二十一人）で、すでに昨年一年間の交通事故数および傷者数を越えていますが、死者数は減っております。

昨年は、一昨年に比較して事故件数が減り、他都市の発生増に比較して市民ぐるみの運動が実を結んできたのは、まだまだ思われましたが、まだまだ運動にはならないことを痛感させられました。

**多い運転不注意**

交通事故がふえたという原因は、自動車運転者、昭和三十七年の自動車数、八千百九十五台、原動機付自転車五万一千八百二十七台、昭和三十八年の自動車数一万一千五百二十五台、原動機付自転車五万一千八百二十五台、昭和三十九年の自動車数一万一千五百二十五台、原動機付自転車六